

## 福祉学科 教員養成に係る教育の質の向上に係る取り組みに関すること

本学では、以下のような取り組みを行っています。

### 各種ガイダンス

入学時、実習前・履修カルテ説明会等のガイダンスは、学科を中心としながら、教職担当者や教務課の担当者全体で学生を支援しています。その際、現職教員及び教育委員会の指導主事等の講話、養護教諭として活躍する卒業生のメッセージなどを積極的に取り入れ、現場の声を学生に届けるようにしています。

### ボランティア活動

学内でボランティア登録をすすめています。登録された学生には、ボランティアについて随時メールで配信されます。参加可能な時に学生が選択して参加します。福祉学科実習指導室では担当教員による丁寧な対応・支援を行っており、学校や地域における子ども関連のボランティア活動を案内しています。福祉学科ではボランティア経験者が非常に多く、ボランティアに関する不安や悩みに先輩たちからアドバイスを受けることもできます。

### 教員志望既卒者へのサポート

卒業後も面接や小論文や実技等に関する指導を受けることができます。また現職教員・講師との交流の機会を求めることもできます。大学を中心とした先輩・同輩・後輩とのつながりの中で、卒業後の学習をサポートしていきます。講師の仕事が終わったあとに大学に立ち寄り、図書館で資料を探し教員に指導を求めながらがんばっている卒業生もいます。

### 教職課程委員会

教職免許を取得できる学科の教員と教務課の担当者と構成されています。入学時のオリエンテーションから免許状取得まで、学生を支援する取り組みについて検討し実践化を図っています。

### 学科別の取り組み

- ・外部講師による教員採用試験対策講座を開催しています。
- ・教職履修カルテ指導については、効果的な学習と養護教諭になるための資質向上を図るために定期的に学年全体の一斉指導及び個別面談を実施しています。

- ・ 教員採用試験対策については、養護教諭志望の 4 年生や下級生を対象に学習会を行っています。専門科目、小論文添削、面接対策、グループ討論対策、模擬授業対策など、毎年改善を図っています。卒業生も参加することが可能です。
- ・ 学生が子ども理解を深め養護教諭としての資質・能力を高めるために、児童館や学校でのボランティア等の体験の機会をつくり、グループでのミーティングや個別指導を定期的に行っています。このような経験は、養護実習や教員採用試験に役に立ってくれます。
- ・ 在校生の指導だけでなく、卒業後のフォローにも努めており、卒業生の希望者に対して養護教諭の職務理解につながる実践的な学習支援を行っています。例えば、就職のための指導だけでなく学校現場と連携して学校保健研究会や教育系の大学付属小・中学校及び学会等への参加や教育セミナー等での発表の支援を行っています。
- ・ 1 年次から 4 年次までの教職志望学生の疑問や相談に対応するために、教職担当教員のオフィスアワーの活用をはじめ、緊急の相談に直ちに応じる態勢を整えています。
- ・ 福祉学科 1 年生・2 年生のアドバイザーでは、メンバー間の交流を深めるようにしています。1 年次は特に学生の自主性を尊重しながら、定期的に交流の機会を作っています。
- ・ 教職志望学生が利用できる Classroom の活用などを通じ、オンラインでの資料提供や相談など教職支援を充実させています。